

# 薬液持続注入ポンプを 使用される患者さんへ

## ・ 薬液持続注入ポンプとは

薬液ポンプのバルーン内にお薬を充填し、バルーンが収縮することにより、お薬の持続注入を行うことができる注入器です。(お薬の充填、追加は医療者が行います)

## ・ 各部分について

### 薬液ポンプ

バルーン内にお薬が充填されています。バルーンが縮むことによりお薬が送り出されます。

### 薬液投与ボタン

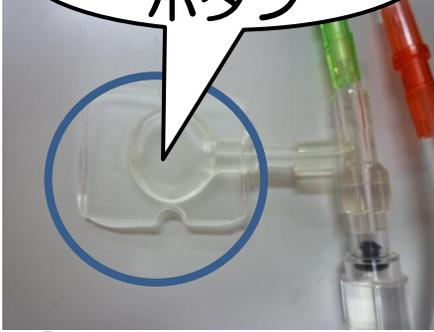
ボタンを押すと少量のお薬が追加で投与されます。

### 流量制御部

バルーンからお薬が流れる速度を一定に保ちます。



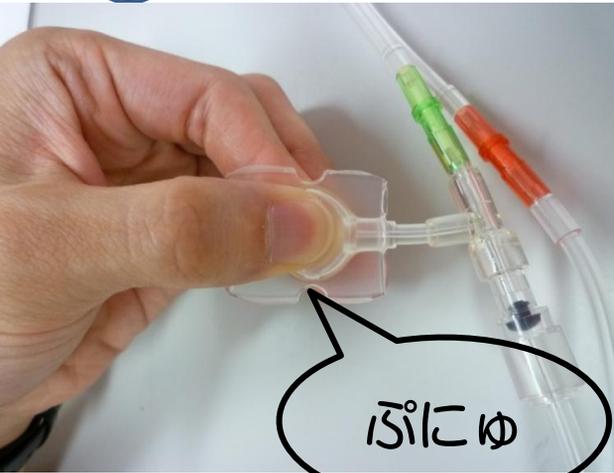
薬液投与  
ボタン



## 薬液投与ボタンの使い方

痛みなどの症状が強くなったときに押すと、お薬が一時的に多く投与されます。

1



15分にゆ

薬液投与ボタン（お薬がたまっています）を押すと、お薬が追加投与されます。  
(一定量以上のお薬は投与されません)

2

一度お薬を投与したら、溜まるまでに一定の時間がかかります。(ロックアウトタイム)

3

薬液投与ボタンを押した時間とその時の痛みを表に記入してください。

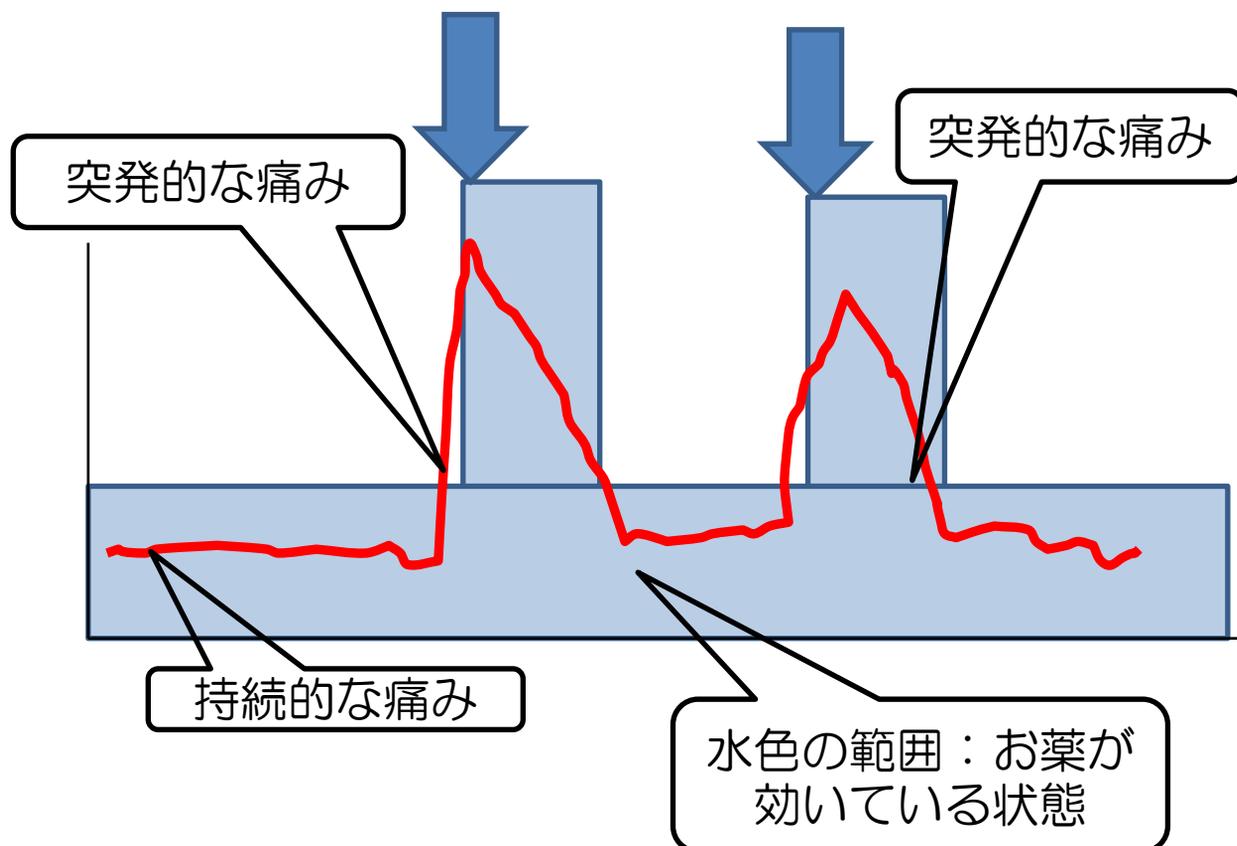
	使用日時		使用した時の痛み					備考 (どんな時に痛くなったか、など)	
記入例)	3月26日	12:45	0	1	2	3	4	5	体を起こした時
1	6月10日	9:45	0	1	2	3	4	5	



# 薬液投与ボタンについて

痛みには①持続的な痛み②突発的な(急に起こる)痛みがあります。薬液ポンプからは一定量のお薬が流出されているため、持続的な痛みをとることができます。また急に痛くないような時には薬液投与ボタンを押すとお薬が追加で投与され、痛みを和らげることができます。(息苦しくなった場合や、重苦しく感じる時に薬液投与ボタンを押す場合もあります。主治医の指示に従って使用しましょう。)

突発的な痛みには薬液投与ボタンを押して対応します



# こんなときは

## ・ 薬液投与ボタンを押すタイミングは？

薬液投与ボタンを押してからお薬が効いてくるまでは少し時間がかかります。痛みが出てきた時や痛くないような時にはすぐに押しましょう。痛みが出ると予想される場合(動く前など)は前もって押すこともできます。

## ・ 薬液投与ボタンは何回押してもいいのですか？

薬液投与ボタンを押してからお薬がたまるまでの時間(ロックアウトタイム)が過ぎていけば、何回押してもかまいません。薬液投与ボタンを押してからお薬がたまるまでの時間は**30分**です。

なお、薬液投与ボタンを押した時間とその時の痛みの記入をお願いします。次回薬液ポンプに充填するお薬の量を決定するための重要な情報になります。

## ・ 液体が出てきていないように思います…

体に入るお薬の量はごく少量なので、短時間では減っていないように見えるかもしれません。ポンプに問題がある場合などはすぐに下記にご連絡ください。

湘南中央病院 薬局 0466-36-8151(代表)